# 議会だより ふだい

岩手県普代村議会
No.177
令和８年11月５日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。




主な内容

定例会での質疑 …… ２ｐ
定例会で決まった議案 …… ３ｐ
令和７年度決算を認定 …… ４～７ｐ
学び方を「まなぶ」とは（一般質問）… ８～12ｐ
未来予想図・あとがき …… 14ｐ

# 9月定例会

# 道路維持費など 3,034万円を増額！

## 定例会のあらまし

村議会第6回定例会（9月定例会）を9月15日から17日までの3日間開会しました。

内容は、令和8年度の一般会計と1特別会計及び2公営企業会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意など8議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、令和7年度一般会計及び各特別会計並びに各公営企業会計決算の認定は、8会計とも認定しました。その中から質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

## 一般会計補正予算

### 歳出

#### 消防費

△普代分署庁舎修繕工事　770万円皆増

**質問** 地震に伴う内装のひび割れ等の修繕ということだが、建物や地盤等に異常はないか調査する予定はあるか。

**回答** 分署庁舎の設計を行った業者が建物内部を調査した結果、分署庁舎の耐震安全性には問題ないと報告を受けている。今後もひび割れが新たに発生した際は、建築物の補強対策についても検討していく。

#### 教育費

▽スクールバス整備事業　1438万円減

**質問** 事業費の減額について、詳細を伺う。

**回答** 老朽化したスクールバスを更新するにあたり、当初取得予定だった45人乗りの車両は生産見通しが不透明な状況から先送りし、今回は早期に取得可能な29人乗りの車両に変更するもの。元々の更新計画で予定していた車両を前倒しして取得するもの。

△普代中学校高圧ケーブル更新工事　220万円皆増

**質問** 法定点検の際に指摘された事項について伺う。

**回答** 普代中学校の高圧電力が供給される設備が更新推奨期間を超過しているとから、今後施設の劣化による高圧停電事故の発生リスクが高まっていると指摘を受けた。そのため、今回特に劣化の著しい箇所である高圧ケーブルの更新を行うもの。

### 歳入

#### 財産の取得

△役場庁舎等LED照明改修事業（脱炭素化推進事業債）　330万円皆増

**質問** 事業の詳細と、交付税措置により負担額はどの程度になるのか伺う。

**回答** 蛍光灯の製造が2027年末までに終了することから、役場庁舎内の照明をLED照明に更新するもの。交付税措置に関しては、今年度に元利償還金の50％が交付税措置される。

△普代村立普代学園備品　7370万円

**質問** 購入する備品についてはどのように選定したのか。また、現在の小中学校で使われている備品はどのように処理する予定か。

**回答** 学校備品を扱う各メーカーの担当者から説明を受け、教職員と事務局が協議し、実際に備品のサンプルを見て選定したもの。また、現在小中学校で使われている実験器具や楽器など各授業で用いる教材備品については、新しい学校でも使用する予定であり、現在一覧表を作成している。



# 定例会で決まった議案

| 議案番号等 | 議　案　等 | 審議結果 |
|---|---|---|
| 議案第１号 | **令和８年度　普代村一般会計補正予算（第５号）**<br>補正額2,178万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を56億8,819万6千円とするもの。<br>特別会計への繰出金及び公営企業会計への補助金のほか、修繕工事等の緊急的な財政需要への対応が主なもの。 | 可　決<br>（全員賛成） |
| 議案第２号 | **令和８年度　普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第１号）**<br>補正額660万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億1,590万6千円とするもの。<br>医科295万2千円、歯科365万4千円の増額。低圧受電工事及び物価高騰の影響による資金不足への対応が主なもの。 | |
| 議案第３号 | **令和８年度　普代村簡易水道事業会計補正予算（第１号）**<br>収入補正額111万1千円、支出補正額111万1千円をそれぞれ追加し、収入総額1億4,542万9千円、支出総額1億4,734万2千円とするもの。 | |
| 議案第４号 | **令和８年度　普代村下水道事業会計補正予算（第２号）**<br>収入補正額84万7千円、支出補正額84万8千円をそれぞれ追加し、収入総額5,220万円、支出総額5,400万3千円とするもの。 | |
| 議案第５号 | **特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例**<br>所得税法等の一部を改正する法律の施行により、東日本大震災復興特別区域法が改正されたため所要の改正をする。 | |
| 議案第６号 | **普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること**<br>現委員任期満了に伴い、金子佳子氏（黒崎）を新たに任命することに同意を求める。<br>任命期間は、令和8年10月1日から4年間。 | 同　意<br>（全員賛成） |
| 議案第７号 | **財産の取得に関し議決を求めること**<br>普代村立普代学園の用に供する備品一式7,370万円を買い入れするもの。 | 可　決<br>（全員賛成） |
| 議案第８号 | **財産の取得に関し議決を求めること**<br>スクールバス1台(29人乗)1,074万9,310円を買い入れするもの。 | |
| 報告第１号 | **令和７年度　普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率** | - |
| 報告第２号 | **令和６年度　普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率** | |
| 諮問第１号 | **人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること**<br>候補者（再）岸里喜美子氏（堀内） | 適　任<br>（全員賛成） |
| 認定第１号 | **令和７年度　普代村一般会計歳入歳出決算の認定** | 認　定<br>（全員賛成） |
| 認定第２号 | **令和７年度　普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定** | |
| 認定第３号 | **令和７年度　普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定** | |
| 認定第４号 | **令和７年度　普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定** | |
| 認定第５号 | **令和７年度　普代村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定** | |
| 認定第６号 | **令和７年度　普代村魚市場事業特別会計歳入歳出決算の認定** | |
| 認定第７号 | **令和７年度　普代村簡易水道事業会計決算の認定** | |
| 認定第８号 | **令和７年度　普代村下水道事業会計決算の認定** | |
| 発議案1号 | **「ゆたかな学びの実現、定数改善及び義務教育費国庫負担率２分の1の復元に係る意見書」の提出** | 可　決<br>（全員賛成） |

# 議論白熱

決算特別委員会（嵯峨典行委員長・委員８人）は９月16日から行われ、令和７年度の一般会計決算及び５特別会計の決算総額、歳入57億3,682万円、歳出55億4,442万円を審査しました。村政のさまざまな分野で質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。

その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。



嵯峨典行 決算特別委員長

## 監査意見

### 効果的な行政運営を

和久 喜美男 監査委員
松葉 明人 監査委員

一般会計及び5特別会計の決算総額は、歳入57億3,682万3千円、歳出55億4,442万6千円で、前年度に比べ、歳入で0・56％の減、歳出は1・86％の減となっている。会計総額の実質収支は1億7００万7千円の黒字で、単年度収支は3,466万8千円の黒字となっている。

村の財政は、厳しい財政状況が続いているが、令和7年度は、特別交付税1億3,293万1千円が交付され、地方交付税は総額で18億4,066万6千円となり、前年度と比べると5・01％の増となった。

本年度は、物価高騰対策地域商品券給付事業、地域おこし協力隊受入事業、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業、普代村立普代学園建設工事等が実施された。翌年度へは10億3,403万5千円を繰り越している。

実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、8・8％で前年度の9・1％を0・3ポイント下回っている。

一般会計予算の歳入の37・28％を占める地方交付税は、今後も増加は期待できず厳しい財政状況が予想されるが、村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮するとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

また、2公営企業会計についても、経年劣化が進む施設の更新や改修等によるさらなる資本投下が想定されるため、上下水道事業経営戦略に基づき、計画的、効率的経営に努められたい。



# 令和7年度決算を徹底検証

# 認定するも

## 令和7年度決算総額は歳入57億円、歳出55億円!!
## 主な事業と質疑をピックアップ

### 一般会計

#### 総務費

**○物価高騰対策地域商品券給付事業　6788万円**
物価高騰対策を目的として全村民を対象に3万円分の地域商品券を給付。

**○三陸鉄道に対する負担金及び補助金　3076万円**

**○村営バス及び周遊観光バス運営事業　1108万円**
村営バス2台により、4路線を1日15往復運行。また、観光客向け観光周遊バスを土・日・祝祭日に運行。

**○標準準拠システム移行支援業務委託料　901万円**
地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に定める標準化対象事務について、システムの移行作業を実施。

**○防災用備蓄資材購入費　46万円**

**質問** 防災用備蓄倉庫5棟が村内の何箇所に整備されているのか。また、各地域に一か所程度備蓄倉庫があってもよいと考えるが、村の見解を伺う。

**回答** 防災備蓄倉庫は中学校に1棟、B&G海洋センターに2棟、災害後方支援拠点広場に2棟整備されている。各地域への整備については、自主防災組織の育成や避難所運営の状況を踏まえ、必要に応じて検討する。




防災用備蓄倉庫
（災害後方支援拠点広場）

**○地域おこし協力隊受入事業（委託型）　3991万円**

**質問** 事業費は隊員何名分に対するものか。また、各隊員は地域おこしについてどのような効果をもたらしたのか。

**回答** 事業費は隊員11名に対するものであり、主な成果として、農業分野での遊休農地の活用や、消防団への加入や鵜鳥神社の活動支援など地域活動への貢献、隊員の起業や定住、新たな仕事の開拓等が挙げられる。

**質問** 隊員1人あたり上限550万円の国の財政措置について、この金額はどのように決められているのか。

**回答** 550万円という金額は国の制度上の上限額であり、内訳は人件費350万円、活動費200万円である。実際の支給額は、隊員が年間を通じて活動したと認められる期間に応じて交付されるが、休職・病気等で活動期間が短くなった場合は、その分減額される。また、自治体が一定の範囲で金額を設定することも可能だが、当村では国の示す550万円を上限として運用している。

**○地域おこし協力隊中間支援業務委託料　748万円**

**質問** 中間支援団体について、随意契約ではなく公募を行ってはどうか。

**回答** 現在、次年度に向けて公募型契約を導入する方向で準備を進めている。12月から1月頃に公募を行い、翌年度からの業務開始を目指している。過去に複数の市町村が実施している事例

を参考にしながら、より適切な支援体制を検討する。

**○移住定住促進事業　315万円**

**質問** 事業の内、おためし移住交通費助成について、実施内容の詳細を伺う。単なる観光目的のために制度を悪用される可能性はないか。

**回答** おためし移住申込者への交通費の助成に加えて、村内での地域おこし協力隊員の活動現場や村の魅力、近隣の観光地などを案内し、移住後の暮らしや活動を具体的に知ってもらう取組を行っている。また、申込者とは事前の面談などを通じて、観光目的とみられる方は対象から外している。その際、移住コーディネーターも面談に同席し、参加者との相談や意見交換に携わっている。

**○ふるさと納税を活用した地域産業推進事業　2億7917万円**

寄付件数　3万1477件

寄付額　4億8944万円

## 民生費

**○子ども園運営事業　8924万円**

村内外0才児～就学前幼児37人を受け入れるなど、園児等の健全育成に努めた。

**○生活支援ハウス運営委託料　800万円**

**質問** 生活支援ハウスの運営について、施設の受入れにはまだ空きがあるのか。また、くろさき小規模多機能ホームや生活支援ハウスを拡充して、村民が利用しやすい高齢者福祉の受け皿を整備できないか。

**回答** 生活支援ハウスは、空きがあれば、主に低所得の村内高齢者が随時入居することができる。高齢者施設の利用ニーズは今後数年でピークを迎え、その後は大きく増えない見通しであるため、受入施設を直ちに増設することには慎重な検討が必要である。

**○介護人材確保養成事業　146万円**

**質問** 本事業の成果と、人材の定着支援を村として今後どのように進めていくか伺う。

**回答** 本事業では、人材紹介サイトの利用料への補助や、一定年数勤務した職員への報奨に対する補助など を行っている。実績として、令和6年度に紹介サイトを通じて1名が職員として採用された。



## 農林水産業費

**○普代村有害鳥獣対策実施隊報奨金　115万円**

**質問** 有害鳥獣の駆除について、令和7年度の捕獲実績と、具体的な捕獲方法について伺う。

**回答** 令和7年度の有害鳥獣の捕獲実績として、ツキノワグマをドラム缶型の罠で15頭、ニホンジカをくくり罠で10頭、イノシシを箱罠で1頭捕獲している。


クマ捕獲に用いるドラム缶型の罠

**○水産業活性化事業補助金　900万円**

アワビ種苗　15万個

**質問** アワビの種苗の購入費補助だけでなく、藻場の再生や漁場環境の原因究明・研究に事業費を充てるべきではないか。

**回答** 現在、県や水産庁に対し環境全体の広範囲な調査を行った上で、大規模な藻場造成事業を実施できる予算措置を求めている。意欲のある漁業者がいるうちに成果を出せるよう、県の研究体制や職員の充実についても、沿岸自治体と共同で要望している。



**○強い水産業づくり交付金事業補助金　940万円**

漁協が新魚市場を運営するにあたり必要となる機械設備の整備に対する補助。

## 商工費

**○黒崎キャンプ場施設整備工事　806万円**

黒崎キャンプ場施設内にある既存ベンチ・テーブル等の腐食による撤去及び更新工事。ベンチ・テーブル5基、階段28段



整備されたベンチ・テーブル（黒崎キャンプ場）

## 土木費

**○村道支障木伐採業務委託料　995万円**

**質問** 危険な支障木への対応について、行政が所有者に代わって撤去する代執行などの対応は可能なのか。また、村から土地の所有者へ危険性について通知しているのか。

**回答** 当該土地については、登記上の所有者が多数の筆にわたり、最終的な所有者を確定できていないため、所有者を特定した正式な文書の取り交わしや、法的な代執行の手続きは難しい。そのことから、法的手段を前面に出すのではなく、所有者と直接会い、危険な場所や状況を丁寧に説明して、伐採の了承を得る努力を続けていく。

**○普通河川上の沢川護岸整備事業　2479万円**

普通河川上の沢川の護岸未整備区間について、コンクリートブロック積み等による護岸の新設工事を実施。

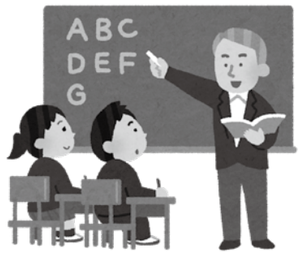

整備された上の沢川の護岸（太田名部）

## 教育費

**○外国語指導助手委託料　554万円**

**質問** ALTを活用した英語教育について、英語力の向上を示す具体的な成果を把握する必要があるために、英語を用いた発表会や交流の場を設け、学校間で成果を確認できるようにしてはどうか。

**回答** ALTの成果はテストの点数だけではなく、子どもたちが外国人と接することで、異文化への理解を深め、外国人にも臆せず関わる姿勢を身につけることにもある。将来、世界共通語である英語を使う力を育てるため、英語力と国際感覚の両面で教育効果を高めていきたい。




**○普代村学習塾委託料　156万円**

**質問** 学習塾を設置した成果と、義務教育学校の開校後、送迎の負担を減らし、教育機会や通学の公平性を確保するため、学習塾を学校内または学校周辺へ移設する考えがあるか伺う。

**回答** 学習塾の成果として、令和7年度の利用者が希望する高校に全員合格した。義務教育学校の開校後は、学校や隣接する体育施設などへの移設も選択肢として検討し、児童・生徒が徒歩で通えるなど、保護者の送迎負担を減らせる場所での運営を目指していく。

## 公債費

**質問** 令和7年度の公債費について、義務教育学校の建設に伴う借入れなどが、今後の村財政にどの程度影響するのか伺う。

**回答** 義務教育学校の建設に活用する過疎対策事業債は、村負担分の一部について地方交付税措置があるため、実質的な負担はより小さくなる。また、農地開発事業などの償還期間が10年から13年程度であるのに対し、義務教育学校に係る起債はおおむね30年の長期償還となるため、財政シミュレーション上は、今後も大きな問題なく対応できる見通しである。ただし、将来の施設整備や修繕などについては、財政状況を踏まえ、慎重に投資を進める必要がある。

## 歳入

**質問** 村固定資産税の滞納が、空き家となった家屋によるものなのか、土地や償却資産によるものなのかなど、内訳を把握・分析しているか。

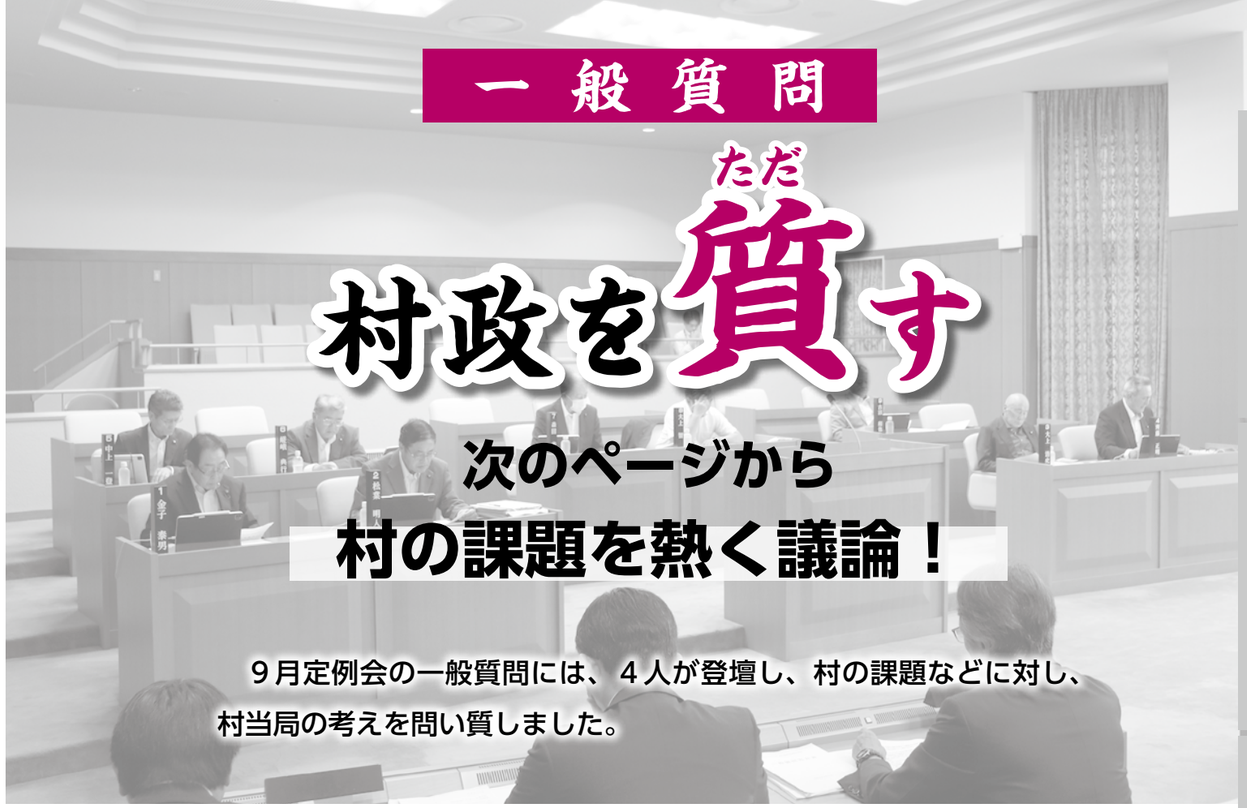
**回答** 令和7年度に滞納繰越しとなった固定資産税は、土地が約227万円、家屋が約663万円、償却資産が約22万円である。ただし、空き家を含む家屋の種類や、個別の滞納原因までは把握できていないことから、今後、内容を詳しく調査する。

## 休養施設特別会計

**質問** くろさき荘について、独立採算の観点から、今後の施設運営や方向性を検討する協議がどの程度進んでいるのか伺う。

**回答** 令和7年度決算を踏まえた具体的な方向性はまだ決まっていない。今後、サマーレビュー※などの場で協議する予定。

※サマーレビュー…村長政策協議



# 一般質問

# 村政を質す

## 次のページから
## 村の課題を熱く議論！

９月定例会の一般質問には、４人が登壇し、村の課題などに対し、
村当局の考えを問い質しました。

| | | |
|---|---|---|
| 齊藤 正明 議員 | 1．透析患者の通院に対する支援について<br>2．健康保険の資格確認書の対応について<br>3．地域課題解決を図るためのドローン活用について | 9ページ |
| 大上 智 議員 | 1．「普代学園開校に向けて」について<br>2．「普代型スクール・コミュニティ」について<br>3．「第１期普代村教育振興基本計画」について | 10ページ |
| 中上 一登 議員 | 1．ふるさと納税の活用について<br>2．災害への備えについて | 11ページ |
| 金子 泰男 議員 | 1．年次有給休暇の使用状況について<br>2．キラウミ遊具の点検について<br>3．ごみの減量対策について | 12ページ |

一般質問とは、本議会で議員が、執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の状況や将来の方針などについて質すものです。
「一問一答方式」で行い、１人 60 分の制限時間内で質疑応答を行います。
一般質問は３月、６月、９月、12 月の定例会に限り認められています。



「一般質問」村政を質す



# 透析患者の通院支援を

## 幅広い観点から検討を進める

齊藤正明 ―― 柾屋村長

**質問**　透析を受けている方は１週間に３回通院し、１回につき約４時間の治療を受けることで本人や家族の身体的負担や経済的負担が大きいものと思われる。透析を受けるための通院に要する費用の負担軽減を図るため、通院費用を助成すべきと考えるが、村長の所見を伺う。

**答弁**　**柾屋村長**　本村において制度を導入する場合には、人工透析患者のみを対象とすることが、他の疾病により、遠距離への定期的通院を必要とする方や重度障害のある方などの均衡への配慮や先々への持続可能となる制度づくりなど、幅広い観点から検討が必要と考えている。

### 資格確認書の今後の対応は

**質問**　本村においても、75歳未満の国保加入者全員に対して、効率的な運用のためにも資格確認書を一斉交付すべきと考えるがどうか。資格確認書は、原則として申請しなければ送られてこない。ぜひとも多くの方に資格確認書の交付が可能な運用をすべきと考えるが、今後の対応は。

**答弁**　**柾屋村長**　資格確認書は、オンライン資格確認を受けることができない状況にある方などに限り交付するものとされている。現時点において、国保加入者全員に資格確認書を一律に交付することは考えていない。

マイナンバーカードに保険情報を登録している方については、引き続き資格情報のお知らせを、それ以外の方には資格確認書を交付する取り扱いを基本としてまいりたい。

要介護者や障害のある方、認知機能が低下している方などについては、顔認証の利用が困難である場合や、暗証番号の管理が難しい場合でのオンライン資格確認が出来なかった場合に備え、資格確認書のお知らせをマイナ保険証と併せて提示することで、保険資格を確認できる仕組みとなっている。

今後も、国の制度改正や運用の変更を注視しながら、村民の皆様がマイナ保険証または資格確認書並びに資格情報のお知らせにより、必要な医療を安心して受けられるよう、関係機関と連携し、制度の周知及び相談体制の充実に努めてまいりたい。

### ドローン活用を

**質問**　全国の自治体では、災害時の被害状況調査や物資の運搬など、地域課題解決のためドローン活用を進めている。本村でもドローンを導入し、操縦できる人材を養成し、ドローンの活用による地域課題を解決すべきでは。操縦者の育成も含め、限られた人員の中での運用体制の検討状況について伺う。

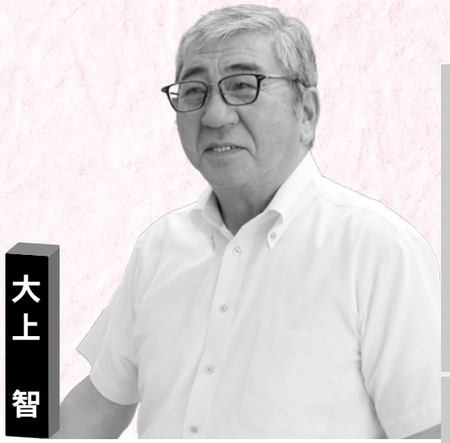
**答弁**　**柾屋村長**　村では、現在職員１名が民間資格、３名が無線従事者免許を取得している中で、ドローン１台を保有し、これは普代分署で管理をしている。

地域課題の解決に向けたドローンの運用体制については、村の防災担当や農林担当のほか、具体例として消防団員や、猟友会、地元の建設業者などと協力し、それぞれの分野の課題解決に向けた連携を図る必要がある。

本村の地域特性にふさわしく、身の丈にあった効率的な運用モデルを構築できるよう、積極的に検討し、取り組みを進めてまいりたい。



様々な分野に活用されるドローン



大上智

# 学び方を「まなぶ」教育とは。

## 「学び」の主体は児童生徒自身。

三船教育長

### 普代学園開校

**質問** 普代学園のメリット等は、ある程度確立され、実践に向けての開校と理解してよろしいか。

**答弁** **三船教育長**
教職員が確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成の各領域を9年間の連続性の中で捉え、児童一人一人の個性を最大限に伸ばす教育を実践できる段階まで積み上げ、開校を迎えることができると確信している。

**質問** 9年間で身につける資質、能力の系統性を、より重視した授業づくりとは。

**答弁** **三船教育長**
教育振興基本計画に「普代0―15一貫成長モデル」を掲げ、発達段階に応じた明確なステップを設定し、学習の見通し、課題解決学習、学習の振り返りのある授業や児童生徒の多面的な個性を伸ばすための、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる指導法の工夫を凝らし、授業を進めていくものである。

**質問** 普代学園の教育コンセプト、何を学ぶということでなく、どう学ぶかを「まなぶ」とは。

**答弁** **三船教育長**
児童生徒が主体となる教育の推進、つまり、内容を覚えることだけでなく、自分に合った覚え方、進め方を身につけること、何を学ぶかより前に、どのように学べば理解しやすいかを自分でわかるようにすること、そして未知の課題と向き合い、解決していく力を育むことを目指すことである。

**質問** 義務教育学校における、今までと違う学校教育内容の大きなメリットを、出来るだけわかりやすく村民に示すべきでは。

**答弁** **三船教育長**
新校舎整備工事と並行し、これからどのようなことをやっていくかを分かりやすく皆様にお伝えし、普代学園の開校を喜んでもらえるよう準備を進めていく。

### 普代型スクール・コミュニティ

**質問** 普代型スクール・コミュニティ教育の推進とは。

**答弁** **三船教育長**
学校の中だけで教育を完結させるのではなく、学校を地域の核として位置づけ、普代ならではの農業体験、漁業体験、郷土芸能等及び学校行事において、地域住民が授業に参画し、一緒にやることで、子供が地域を学び、地域が子供を支え、子供から活力をもらうという双方向の連携・協働体制で生きる力を培う社会の仕組みの確立を目的とするもの。

**質問** 開かれた学校の具体的なイメージとして、例えば、普代オリンピックの中身に、老若男女総参加の昔の地区運動会的なものの組み入れも考えられるということか。

**答弁** **三船教育長**
すぐに実現するとは思っていないが、そういう方向性で進めていけば、普代型スクール・コミュニティもますます活性化していくのではないかと思っている。



普代学園のはんてん

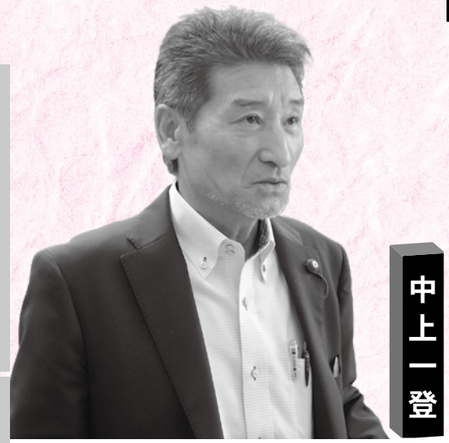
### 教育振興基本計画

**質問** 教育振興基本計画は、学校教育、社会教育での「人づくり」が目標か。

**答弁** **三船教育長**
本計画に基づき、両教育が車の両輪として機能し、学校で育ち、地域で輝き、次世代を育てるという持続可能な「人づくり」の循環を目標として取り組んでまいりたい。







中上一登

# 新たな主力商品の開発を

## 既存商品と合わせて模索していく

柾屋村長

### ふるさと納税の活用について

**質問** ウニやイクラに代わる商品開発は進んでいるのか。

**答弁** **柾屋村長**
現在商品開発に取り組んでいる昆布リキュールについて、地場産品基準の関係から、単品では返礼品として取扱いできないが、他の昆布商品とのセット販売など、新商品の取扱いが可能となるよう方法を模索していく。



新商品の昆布リキュール

**質問** これまで開発した商品の販売状況はどうか。

**答弁** **柾屋村長**
昆布麺シリーズや昆布入りつゆ、タコ丼のたれなどの開発した商品については、令和6年度で4５４万円、令和7年度で4０１万７０００円、令和8年度の4月から8月までの5か月時点で３１８万７０００円となっており大きな増減はないものの、まずまず順調に販売している。



昆布麺シリーズ

**質問** 株式会社青の国への委託料は適正であるのか。

**答弁** **柾屋村長**
国から経費率基準を段階的に下げることが示されたことから、令和7年10月からは寄附額の８％に消費税を乗じた額を委託料とすることに変更している。現状まで委託率はおおむね許容範囲に収まっている。

### 災害への備えについて

**質問** 災害時における電波対策の備えについて伺う。

**答弁** **柾屋村長**
村の災害対応の基本計画に基づき、防災行政無線をメインとして通信手段の運用を図っていく。防災行政無線については、無停電装置、あるいは蓄電池や非常用電源設備等を整備している状況であり、もし電気通信が遮断された場合には、消防無線や非常用衛星といったようなものを活用して、通信手段を確保していく。今年度はＪアラートの新型受信機の整備、今後の防災行政無線の更新への実施設計などに取り組んでいく。

**質問** 政府の太陽光パネル購入補助の廃止や蓄電池の設置場所、極寒でのＥＶ車の問題点など周知させているか。

**答弁** **柾屋村長**
太陽光発電システムの個人への単独助成は引き続き支援していく予定。公共施設の部分は、次世代型太陽電池などの動向も見ながら今後検討していく。蓄電池の設置場所やＥＶ車等の課題は、現在村では特段に周知を行っていない。購入に当たっては村民それぞれが理解をした上で行っていただきたい。

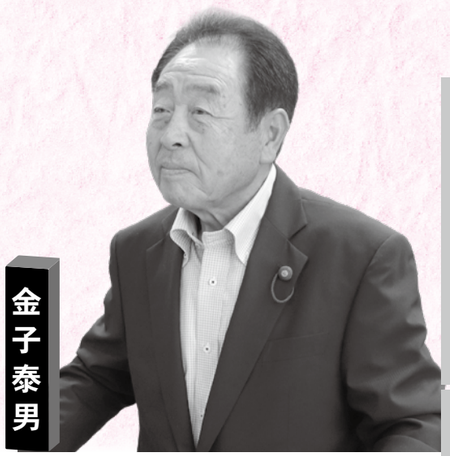
**質問** 避難所は各地で確保された状態であるのか、また、避難所への冷暖房も今後完備していくのか。

**答弁** **柾屋村長**
村の指定避難所は、役場、管理センター、Ｂ＆Ｇ海洋センター、くろさき荘の４か所であり、うねとり荘、くろさき小規模多機能ホームが福祉避難所である。現在Ｂ＆Ｇ海洋センターのみ指定避難所では冷暖房設備がないが、今後防災拠点施設としての機能強化について検討していく。また、村内各地区の公民館的施設についても、整備を着実に進めていく。

# 職員体制は適正であるのか

## ワーク・ライフ・バランスを保った環境作りを

金子泰男 ―― 柾屋村長



### 年次有給休暇の使用状況について

**質問** 村職員の昨年度の年次有給休暇の使用状況について、管理職と一般職のそれぞれの使用日数を伺う。また、職員が休暇を問題なく取得できるよう業務体制は整っているか。

**答弁** **柾屋村長** 年次有給休暇の取得日数について、管理職が1人当たり平均8・7日、会計年度任用職員を除いた一般職員については14・2日である。それらを合わせた正職員の平均日数は13・0日であり、県の平均が12・9日である。年次有給休暇の取得に際しては、各課室の長が職員の業務の進行管理を適切に行っており、業務に支障を来さないよう取り組んでいる。

**質問** 職員が休暇を取得することによる他の職員への負担や村民へ提供するサービスへの影響を考慮すると、正規職員の増員についても考えなければならないと思うが、村長の考えを伺う。

**答弁** **柾屋村長** 職員数と行政サービスの質はおおよそ比例するものと考える。人口減少により財政も縮小していく状況において、最少のコストで最大のサービスを提供していくためにも、今後の本村における行政サービスの水準を議員や村民の皆様との対話の中で決定していかなければならない。

### キラウミ遊具の点検について

**質問** 遊具の点検について、日常点検と定期点検はどのような頻度で行っているのか。

**答弁** **柾屋村長** 遊具の日常点検業務は、施設管理受託者依頼している。また村の観光担当者も最少でも月1回の施設の見回りの際に確認をしている。定期点検については、遊具を設置した業者が2年に1回点検を実施することとしており、今年度の6月に実施している。



キラウミの遊具（すべり台）

### ごみの減量対策について

**質問** 一般家庭から排出されるごみの量について、減量するための具体的な対策を伺う。

**答弁** **柾屋村長** ごみの排出量減量への対策について、村では、公衆衛生班連合会を通じて、生ごみ処理機や生ごみコンポストの購入に対する補助を行っている。また、マイバッグやマイボトルの使用、詰め替えできる商品を選ぶことなど、適宜の呼びかけなども行っている。

**質問** 減量対策の一つとして、ごみ処理に係る経費をより周知すべきと思うが。

**答弁** **柾屋村長** ごみ処理に必要な経費やごみの減量による効果について、老朽化している焼却施設や最終処分場の延命化による建設費などの費用削減にも直結することを含め、広域連合を中心に構成市町村での広報紙やホームページ、また地域の会合などでの説明や啓発などに努め、周知していきたい。さらに、村民が具体的に取り組めるごみ減量アクションの事例なども紹介しながら、ごみの減量やリサイクル、環境に配慮した行動を一層進めていただくように、引き続き取り組んでいく。





## 7/15 第5回臨時会

審議した案件は、令和8年度普代村一般会計補正予算（第4号）と普代村立普代学園建設（建築）工事の変更請負契約に関し議決を求めることについての2議案を全員賛成で原案可決しました。

**◇令和8年度普代村一般会計補正予算（第4号）**

補正額5,854万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を56億6,641万5千円とする。物価高騰対策水道料金減免事業409万7千円の増額、職員採用等による人件費の増額ほか、普代村立普代学園建設（建築）工事の設計変更による工事請負費4,447万3千円の増額が主なもの。

**◇普代村立普代学園建設（建築）工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めること**

請負者：宮城建設株式会社・株式会社小山組　特定共同企業体

変更後：22億9,310万3,410円（4,447万2,321円増額）

屋内運動場棟等、施工段階で判明した現場条件への対応や施設機能の確保、安全性の向上を図るため。

## 主な議会の動き

（6月定例会～9月定例会　諸報告より抜粋）

| 月　日 | 場　所 | 事　項 | 出席者 |
|---|---|---|---|
| 6月17日 | 役　場 | 村議会令和8年第4回定例会 | 正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、中上、森田、大上智議員 |
| 26日 | 役　場 | 議会広報常任委員会 | 大上智委員長、齊藤副委員長、松葉委員 |
| 7月1日 | 盛岡市 | 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会・臨時会・議員研修会 | 齊藤議員 |
| 5日 | 葛巻町 | 北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会総会・決起大会 | 正路議長、古沼副議長、松葉産業経済常任委員 |
| 15日 | 役　場 | 議会運営委員会 | 各委員、正副議長 |
| | | 村議会令和8年第5回臨時会 | 各議員 |
| 23日 | 役　場 | 令和8年度第1回ふだいまつり実行委員会 | 正路議長 |
| | 役　場 | 議会広報常任委員会 | 大上智委員長、齊藤副委員長、松葉委員 |
| 8月4日 | 自然休養村管理センター | 戦没者追悼式 | 各議員 |
| 5日 | 盛岡市 | 岩手県町村議会議長会町村議会夏季議員大学講座 | 大上智議員 |
| 20日～21日 | 東京都 | 中央研修会・三県合同交流会、岩手県選出国会議員との懇談会 | 正路議長、古沼副議長 |
| 21日 | 久慈市 | 市町村からの県要望 | 正路議長、古沼副議長、嵯峨総務常任委員長、森田産業経済常任委員長 |
| 9月4日 | うねとり荘 | ふれあい敬老会 | 正路議長 |
| 7日 | 役　場 | 議会運営委員会 | 各委員、正副議長 |
| 8日 | 盛岡市 | 知事を囲む懇談会 | 正路議長 |
| | 普代社会体育館 | 普代村敬老会 | 古沼副議長 |

ふだい議会だより No.177
■発行　普代村議会　■編集　議会広報常任委員会
〒028－8392　岩手県下閉伊郡普代村第９地割字銅屋13番地２　TEL 0194－35－2118
■印刷　㈲九戸印刷　FAX 0194－35－2712
■令和８年11月５日発行　HP https://www.vill.fudai.iwate.jp



# VOICE 未来予想図 Fudai



## 魅力的な普代村で、頑張ります！

菊池（きくち）　恵美（めぐみ）さん（42）

私は山形県出身で、夫の仕事をきっかけに６年前から岩手県沿岸部で暮らしています。今年の８月から普代村役場の住民福祉課で、住民基本台帳や戸籍業務などを担当しています。

普代村は「青の国ふだい」の言葉どおり、広い空と深い海の青、昆布やわかめ、木々の緑に恵まれた自然豊かな場所です。自然を好む私にとって元気を得られる場所です。

学びの場、アートの充実そして郷土芸能の継承を望み、普代村の良さを守りつつ新たな創造や挑戦が続く村の発展を願っています。共に考えて進んでいける職員になります。これから、どうぞよろしくお願いいたします。😊

## 未来につなぐ防災意識！

吹切（ふっきり）　優（ゆう）さん（41）

７月から普代村職員となりました洋野町種市出身の吹切と申します。

特技は、自動車ポンプ操法（２番員）です。

現在、税務出納課に配属されていますが、窓口で村民の方々に声を掛けていただくことがあり、その度に普代村の温かさを感じています。

私は、岩手県地域防災サポーターを拝命しておりますので、普代水門の建設にご尽力された和村元村長の意思を次の世代へ受け継いでいく、橋渡しの役割も担っていきたいと考えております。

また、休日は野球の審判をしていることが多いため、機会があれば普代村でもジャッジし、地域に貢献して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。😊

## 広報委員からの返信



### 松葉 明人 広報委員

菊池さん、北緯40度の地普代村へようこそ。

黒崎からの日の出や、地球を丸く感じることのできる水平線は必見です。普代音頭にもあるように「ここじゃだれでも自然人」です。自然を好まれる菊池さんには最良の職場なのでは？

住民福祉課の住民基本台帳や戸籍業務担当とのこと、人口は少ないですが、その分中身の濃い対応が望まれます。住民福祉の向上ために共に考えて行きましょう。議会にも気軽に声をかけてください。



### 齊藤 正明 広報副委員長

吹切さん、消防団員として地域の安心と安全のために活動していることに深く尊敬しております。

野球審判としても地域スポーツの発展に尽力されていること、本当に素晴らしいですね。

地域防災サポーターの活動が、これまで積み重ねてこられた経験や知識を、次の世代につないでいけるよう、橋渡しの役割を大いに期待しています。

## あとがき

活発なる審議の下、９月定例会において、補正予算、令和７年度決算の認定が議決されたことをご報告いたします。

さて、秋の季節到来、来年度開校に向け普代学園の整備も順調に進んでいるようでございますし、稲刈りもほとんど終わり、後は、浜が大漁となることを祈るばかりでございます。（大上　智）

今年のふだいまつりは天候にも恵まれ、たいへん多くの方に来ていただき、大盛況でとても良い祭りになったと思います。

想定以上に車が多く、駐車場が足りないように思いましたので、それを反省に来年はもっと盛り上がることを期待しています。（古沼和也）

発行責任者
議長　正路正敏
議会広報常任委員会
委員長　大上智
副委員長　齊藤正明
委員　松葉明人
古沼和也

ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。

一緒に考えよう　この村のカタチ。